日本金銭機械株式会社

2027年３月期 中間期決算説明会

2026年11月20日

東証プライム市場 / 証券コード：6418

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

前年同期比で増収・増益

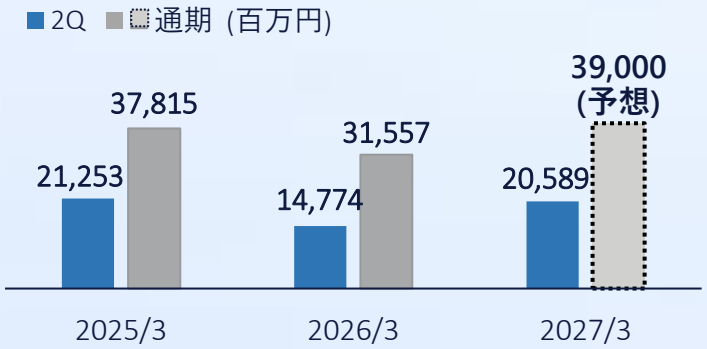
グローバルゲーミング
北米地域で紙幣識別機ユニット・プリンターユニットの販売が好調に推移し、欧州地域向けも増加

海外コマーシャル
欧州地域での紙幣還流ユニット等の販売増加に加え、７月の事業譲受による製品販売が寄与

売上高

20,589百万円	39.4%増

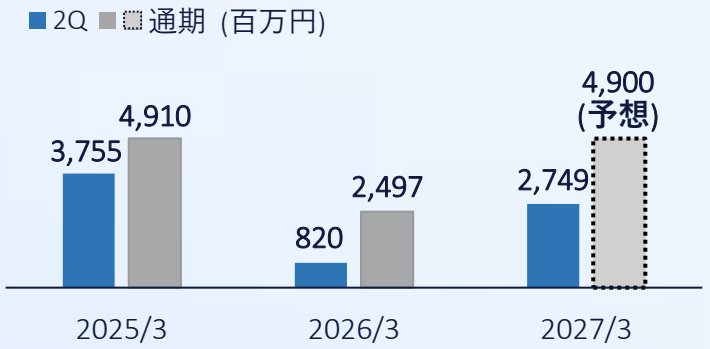
（対前年同期増減率）



営業利益

2,749百万円	234.9%増

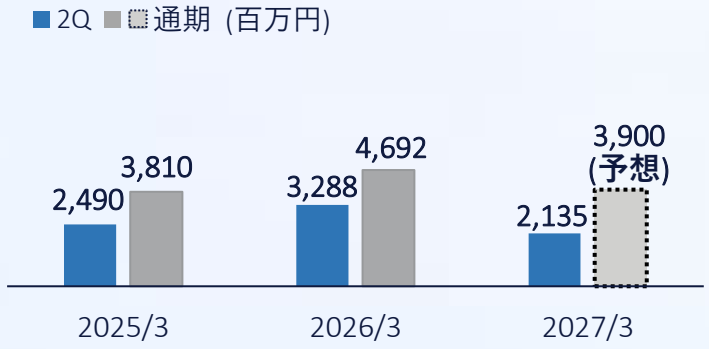
（対前年同期増減率）



中間純利益

2,135百万円	35.1%減

（対前年同期増減率）



※中間純利益は前年の固定資産売却益の反動で減益

中間期 連結業績 - 概要

単位：百万円	2026/3 2Q		2027/3 2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	14,774	100.0%	20,589	100.0%	＋5,814	39.4%
営業利益	820	5.6%	2,749	13.4%	＋1,928	234.9%
経常利益	1,011	6.8%	2,719	13.2%	＋1,707	168.8%
中間純利益	3,288	22.3%	2,135	10.4%	※△1,153	※△35.1%
1株当たり中間純利益	121.45円		78.70円		△42.75円	

※中間純利益は前年の固定資産売却益の反動で減益

平均為替レート	米ドル	147.50円	158.61円	＋11.11円
	ユーロ	162.30円	184.89円	＋22.59円

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

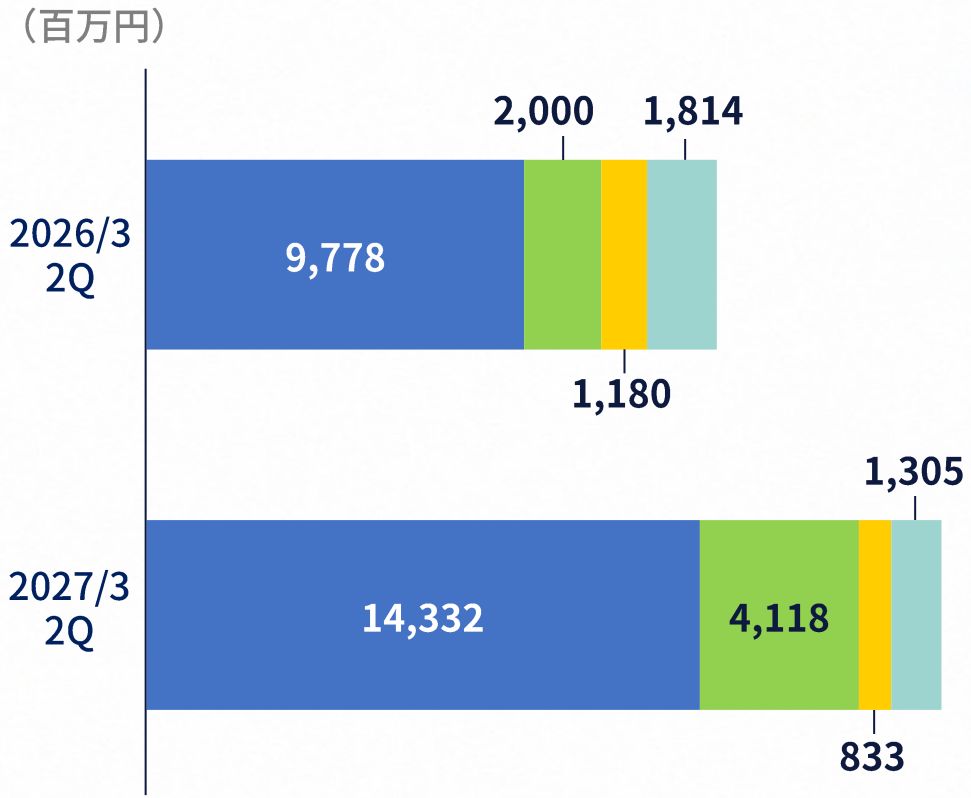
07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

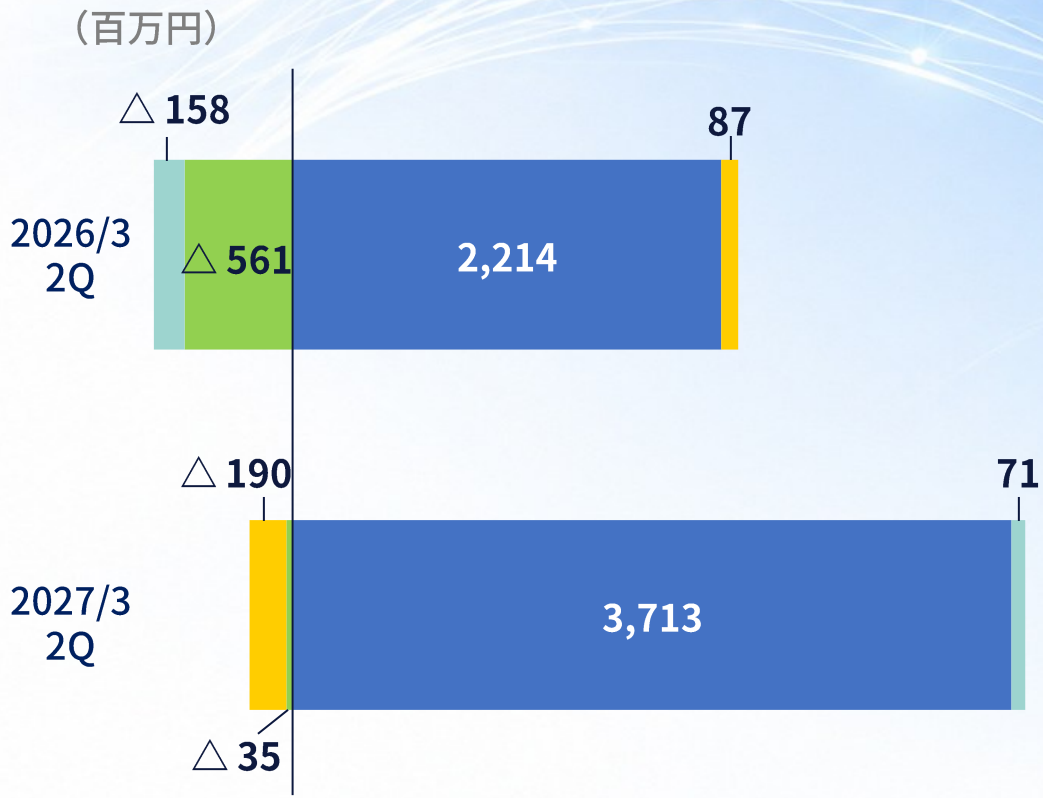
02 セグメント別概要

グローバルゲーミングは、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅増
海外コマーシャルは大幅増収となり、損失が縮小
国内コマーシャルは減収減益、遊技場向機器は黒字転換

セグメント別売上高



セグメント別営業利益



■グローバルゲーミング　■海外コマーシャル　■国内コマーシャル　■遊技場向機器

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 **連結業績予想** P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

03 連結業績予想

売上高予想は据え置き。利益予想は上方修正。

単位：百万円

	前期通期	期初予想	今回修正予想	前期比増減	前期比増減率
売上高	31,557	39,000	39,000	＋7,442	23.6%
営業利益	2,497	3,000	4,900	＋2,402	96.2%
経常利益	3,525	3,100	5,000	＋1,474	41.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,692	2,300	3,900	△792	△16.9%
１株当たり当期純利益	173.14円	84.79円	143.71円	－	－

グローバルゲーミング

北米地域を中心に、製品販売は堅調に推移する見込み

海外コマーシャル

欧州地域における製品需要の回復
富士通フロンテック株式会社からの事業譲受に伴う製品販売が寄与する見込み

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

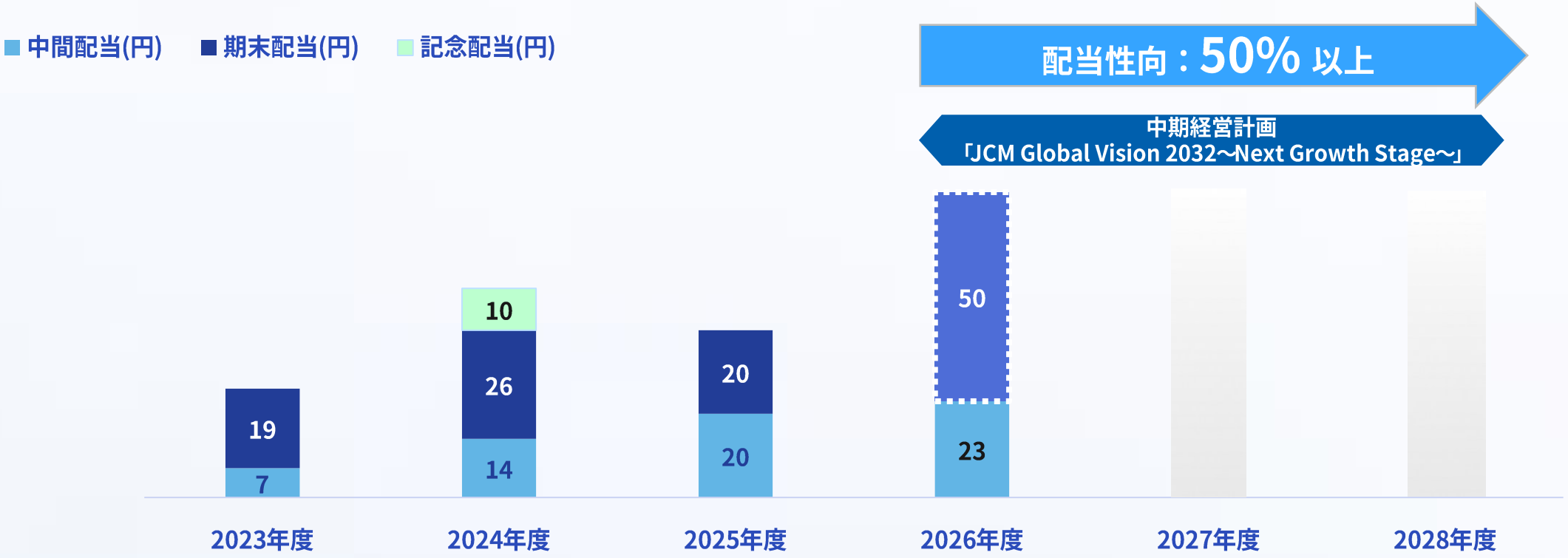
05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

配当	配当方針：連結配当性向50%以上 2027年３月期の年間配当予想は73円（中間23円、期末50円、前回予想比27円増配）



	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
年間配当(円)	26	50	40	73（予想）	−	−
連結配当性向(%)	23.1	35.3	23.1	50.8（予想）	50以上（方針）	50以上（方針）

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 **連結業績の詳細分析** P13

06 中期経営計画 P20

07 株価・PBR・ROE P22

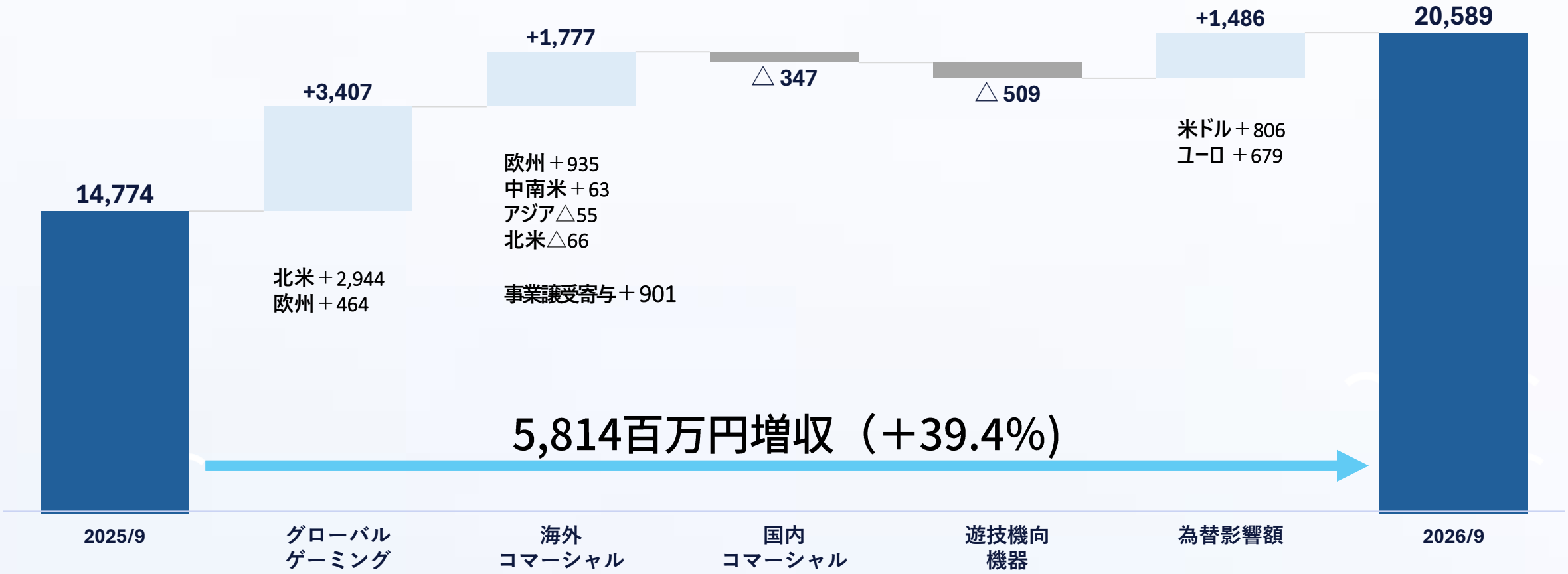
参考資料 P23

連結業績 - 売上高 増減要因

■主な増減要因

・グローバルゲーミング：北米で主力製品が好調、欧州向けも増加
・海外コマーシャル：欧州での販売増加と事業譲受による売上寄与

単位：百万円

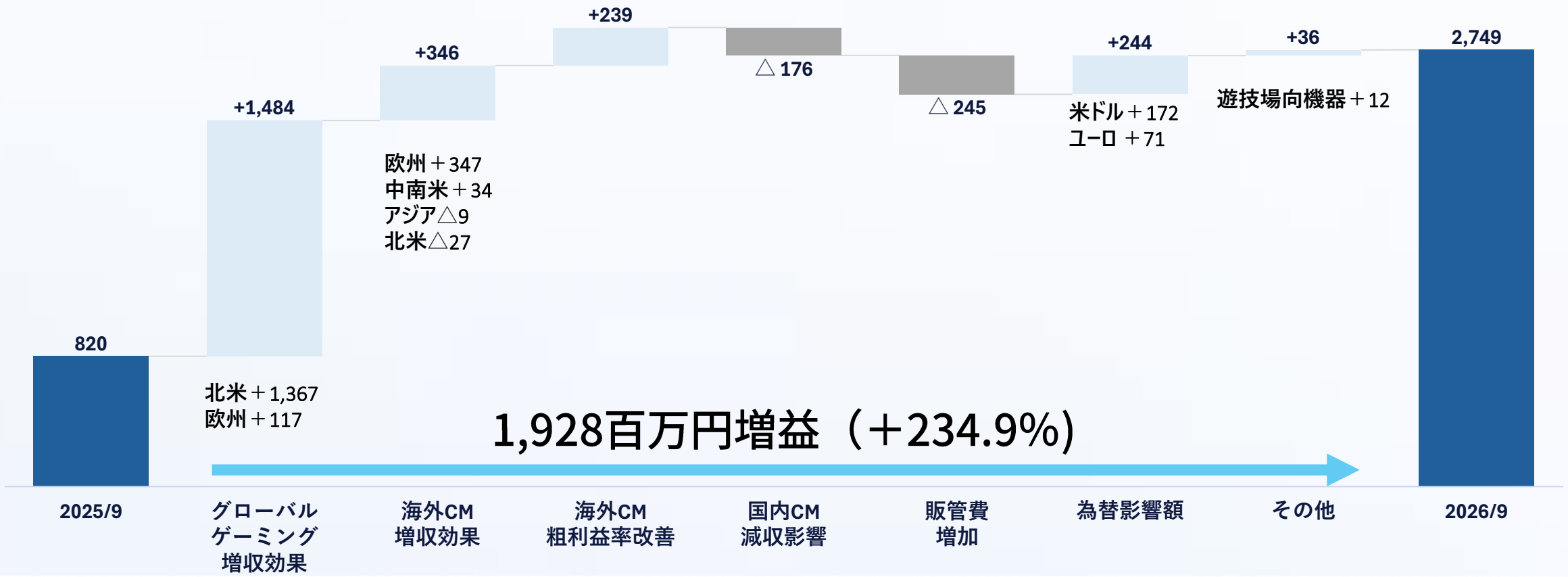


連結業績 - 営業利益 増減要因

主な増減要因

グローバルゲーミングの販売拡大と海外コマーシャルの損失縮小が寄与
遊技場向機器も経費削減等により黒字転換し、営業利益が増加

単位：百万円



セグメント別概要 - グローバルゲーミング



セグメント概要

■事業概要
主な市場は北米カジノホテルのゲーミングエリア、欧州のストリートのゲーム場

ゲーミングマシン搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニット、カジノホテルの省力化や自動化のためのシステム製品等を販売

■主な納入先
スロットマシンメーカー、カジノホテル



紙幣識別機ユニット



カジノホテル現金回収業務
自動化システム

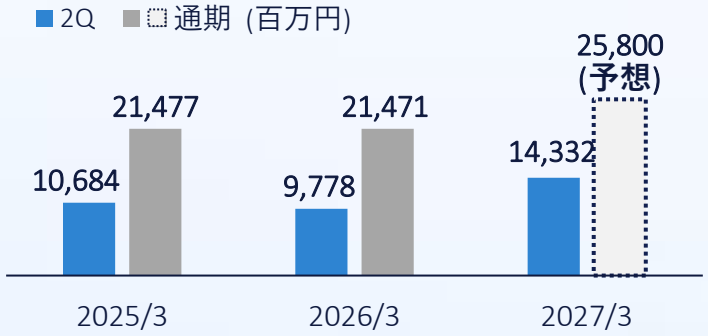


プリンターユニット

売上高

14,332百万円	46.6%増

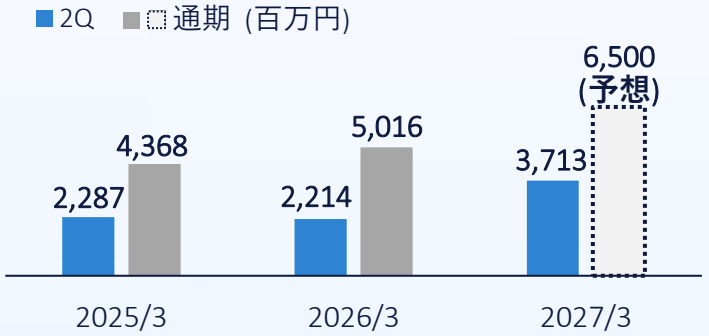
（対前年同期増減率）



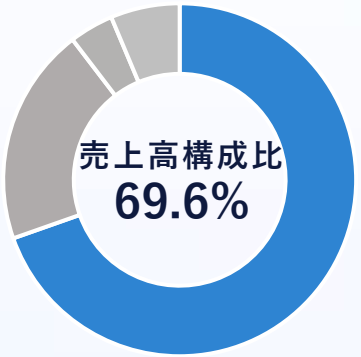
セグメント利益

3,713百万円	67.7%増

（対前年同期増減率）



■業績概況・見通し
北米で紙幣識別機ユニット・プリンターユニットの販売が好調、欧州地域向けも増加し、売上高・利益ともに増加
今後も新モデルの市場浸透に取り組む



セグメント別概要 - 海外コマーシャル



セグメント概要

■事業概要
海外の流通・交通・金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先
完成品メーカー（セルフレジ、キオスク端末等）







紙幣還流ユニット



紙幣識別機ユニット

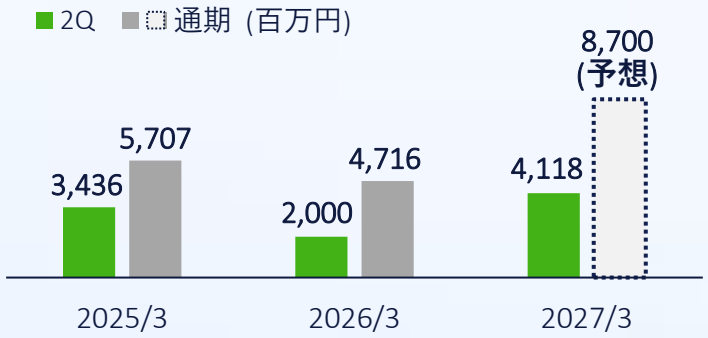


自動釣銭機

売上高

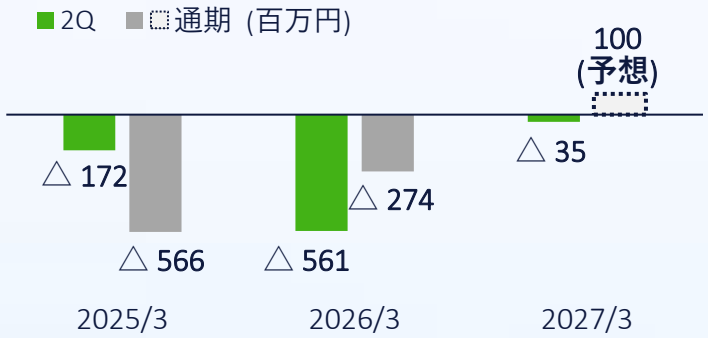
4,118百万円	105.9%増

（対前年同期増減率）



セグメント利益

△35百万円	前年同期は 561百万円の損失



■業績概況・見通し
紙幣還流ユニット等の販売増加と事業譲受による製品追加で、売上高は大幅に増加
粗利率の改善等により損失は縮小
欧州を中心に需要が回復基調
事業譲受を通じ、顧客基盤の強化と製品拡充を推進



セグメント別概要 - 国内コマーシャル



セグメント概要

■事業概要
日本の流通、交通、金融市場向けの精算機や券売機等に搭載される紙幣識別機ユニットや紙幣還流ユニットを販売

■主な納入先
完成品メーカー
（飲食店セルフ精算機、コインパーキング、セルフガソリンスタンド、バス等）



紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット



キャッシュレス対応
自動精算機

売上高

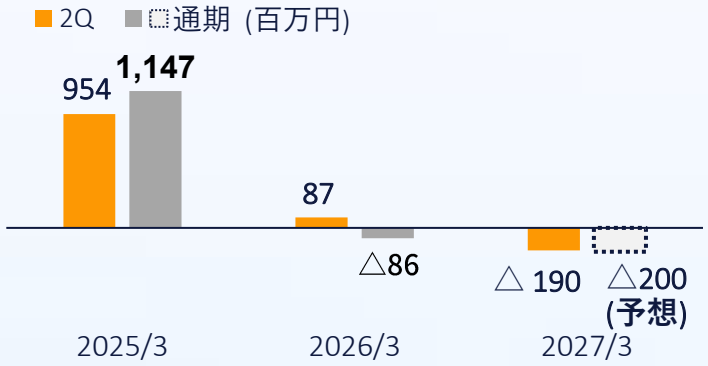
833百万円	29.5%減

（対前年同期増減率）

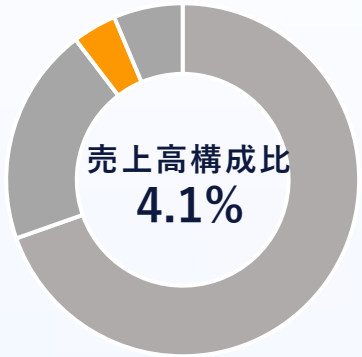


セグメント利益

△190百万円	前年同期は87百万円の利益



■業績概況・見通し
紙幣還流ユニット等の販売が減少し、売上高は減少、利益面では損失に転じた
主な顧客の在庫調整が主な要因
新たな市場への製品展開により国内需要の掘り起こしを推進



セグメント別概要 - 遊技場向機器



セグメント概要

■事業概要
パチンコホール向けに、スマート遊技機専用ユニットや玉・メダル貸機、メダル自動補給システム等の周辺設備機器を販売

■主な納入先
パチンコホール



紙幣搬送システム



景品払出機

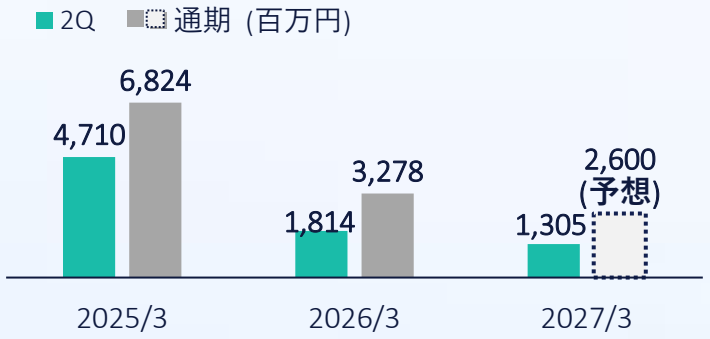


スマート遊技機
専用ユニット

売上高

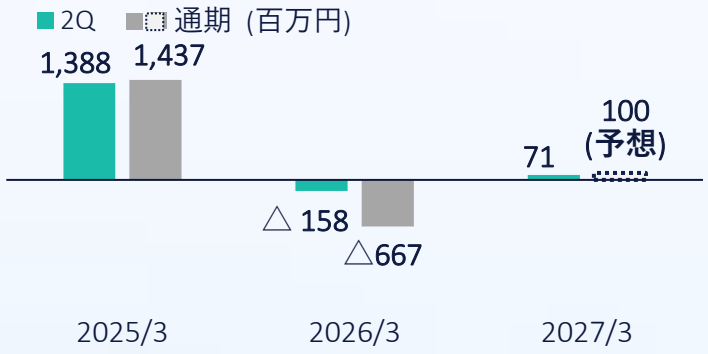
1,305百万円	28.1%減

（対前年同期増減率）

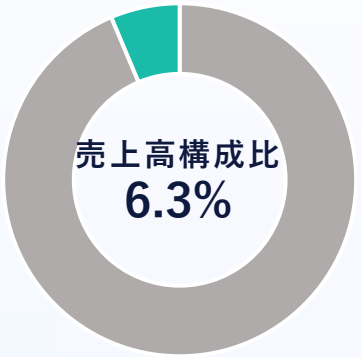


セグメント利益

71百万円	前年同期は 158百万円の損失



■業績概況・見通し
スマート遊技機専用ユニットの販売が減少し、売上高は減少
一方、利益面では黒字に転換
ホールの設備投資は低調
経費見直しや粗利率改善など、収益構造の改善を推進



目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 **中期経営計画** P20

07 株価・PBR・ROE P22

参考資料 P23

2026年５月21日に、2028年度（2029年3月期）を最終年度とする
中期経営計画「JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～」を策定

以下の主な財務目標を設定し、当該計画達成に向けて着実に実行中

JCM Global Vision 2032～Next Growth Stage～



財務目標（2028年度）

売上高（CAGR）
10 %
(2025–2028)

営業利益率
10 %
(2028年度)

ROE
8 %
(2028年度)

海外コマーシャル　売上比率
38 %
(2028年度)*2025年度15%



※2026年度営業利益は3,000百万円から4,900百万円へ予想修正

目次

AGENDA

01 中間期 連結業績ハイライト・概要 P4

02 セグメント別概要 P7

03 連結業績予想 P9

04 株主還元 P11

05 連結業績の詳細分析 P13

06 中期経営計画 P20

07 **株価・PBR・ROE** P22

参考資料 P23

株価・PBR・ROE

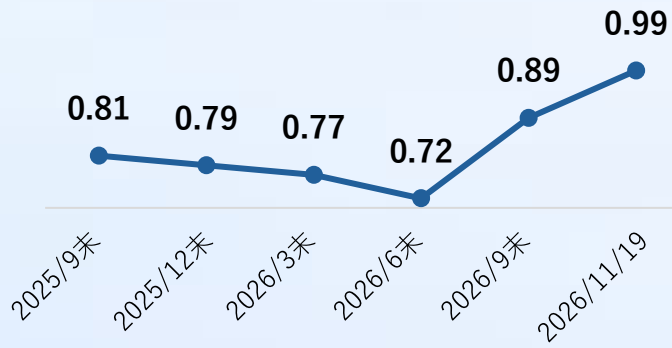
株価の推移



PBR

0.99倍（2026/11/19）

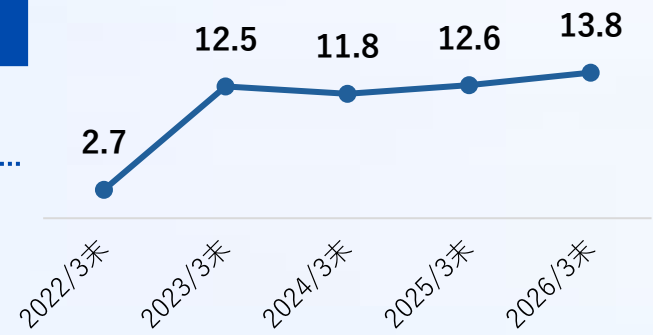
持続的な維持・向上に
向けた基準値
1.0倍以上



ROE

13.8%（2026/3末）

中期経営計画目標値
8%以上



参考資料

REFERENCES

01 会社概要・沿革 P24

02 連結貸借対照表・連結キャッシュフロー
設備投資額・減価償却費・研究開発費 P26

03 為替影響 P29

04 市場シェア P30

05 Topics P31

06 サステナビリティへの取り組み P33

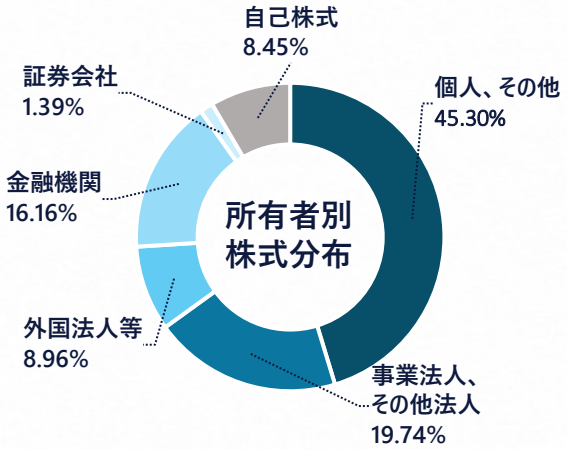
参考資料-会社概要

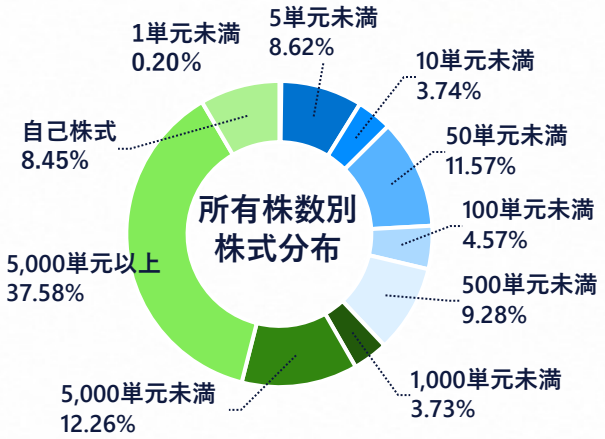
商号	日本金銭機械株式会社 Japan Cash Machine Co.,Ltd.
設立	1955年1月11日
代表者	代表取締役社長　上東 洋次郎 代表取締役専務取締役　高垣 豪
本社所在地	大阪市浪速区難波中二丁目11番18号

上場区分	東証プライム市場
社員数	631名（2026年9月30日現在）
資本金	22億2,031万円（2026年9月30日現在）
事業所	本社　（大阪市浪速区）、東京本社　（東京都港区）、 長浜工場　（滋賀県長浜市）
海外拠点	アメリカ（ラスベガス、ダラス）、ブラジル、 ドイツ、イギリス、タイ、フィリピン

株式の状況（2026年９月30日現在）

発行可能株式総数	118,000,000株	1単元の株式数	100株
発行済株式の総数	29,672,651株	株主数	25,304名





株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,779	10.23
上東　洋次郎	1,474	5.43
上東　好子	638	2.35
株式会社りそな銀行	563	2.07
日本金銭機械従業員持株会	529	1.95
株式会社三井住友銀行	503	1.85
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	432	1.59
トーターエンジニアリング株式会社	432	1.59
日本生命保険相互会社	403	1.48

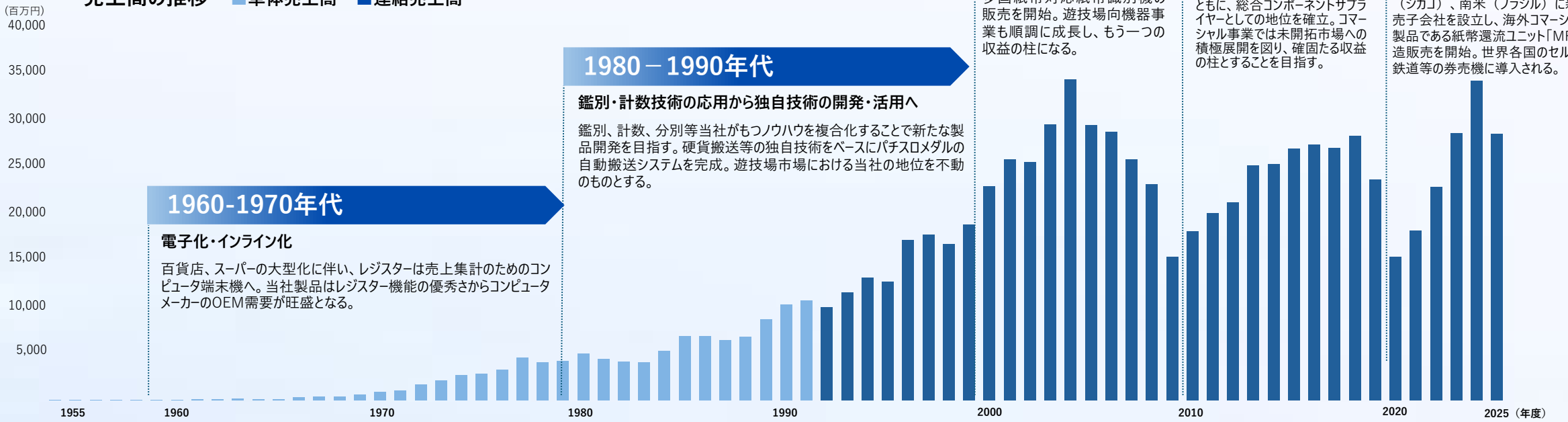
（注）1. 当社は、自己株式を2,506,300株保有（2026年９月30日現在）しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

Our History

1955年に創業して以来、当社は貨幣処理機器メーカーという専門性の高い分野を担うメーカーとして、「人と人」、「人と貨幣」を円滑につないできました。これまで世界市場を舞台に貨幣流通のスペシャリストとして培った技術を基に、それぞれの市場に求められる新たな価値を提供できる、インターナショナル企業として、人々の期待と信頼に応え続けていきます。

売上高の推移

■単体売上高 ■連結売上高



1960-1970年代

電子化・インライン化

百貨店、スーパーの大型化に伴い、レジスターは売上集計のためのコンピュータ端末機へ。当社製品はレジスター機能の優秀さからコンピュータメーカーのOEM需要が旺盛となる。

1980－1990年代

鑑別・計数技術の応用から独自技術の開発・活用へ

鑑別、計数、分別等当社がもつノウハウを複合化することで新たな製品開発を目指す。硬貨搬送等の独自技術をベースにパチスロメダルの自動搬送システムを完成。遊技場市場における当社の地位を不動のものとする。

2000年代

欧米市場への貨幣処理機器事業の展開/遊技場関連機器のニーズに対応

多国紙幣対応紙幣識別機の販売を開始。遊技場向機器事業も順調に成長し、もう一つの収益の柱になる。

2010年以降

コアとなる識別・搬送技術を追求し、時代を先取りする技術革新につなげる

グローバルゲーミング事業、遊技場向機器事業では、買収・事業譲受けによって新たに取得した製品、市場、顧客、資産等を活用し、シナジー効果を享受するとともに、総合コンポーネントサプライヤーとしての地位を確立。コマーシャル事業では未開拓市場への積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す。

2020年以降

コマーシャル事業の拡大に向けて、新たに子会社を設立、積極展開を図り、確固たる収益の柱とすることを目指す

最適な生産体制の確立に向け、フィリピンに新たに生産子会社（新工場）を設立。さらに、ゲーミング事業に次ぐ当社の柱となるコマーシャル事業の拡大に向けて、北米（シカゴ）、南米（ブラジル）に新たな販売子会社を設立し、海外コマーシャル向け製品である紙幣還流ユニット「MRX」の製造販売を開始。世界各国のセルフレジや、鉄道等の券売機に導入される。



参考資料-連結貸借対照表

■ 総資産：55,800百万円（前期末比＋3,578百万円）

- 流動資産　＋3,281百万円：現預金・売上債権が増加、有価証券は減少
- 固定資産　＋306百万円：有形固定資産・のれん・使用権等が増加、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が減少（△206百万円）
- 負債　＋1,298百万円：仕入債務が増加（＋1,907百万円）、借入金の返済により短期・長期借入金等が減少（△750百万円）
- 純資産　＋2,279百万円：利益剰余金・為替換算調整勘定が増加

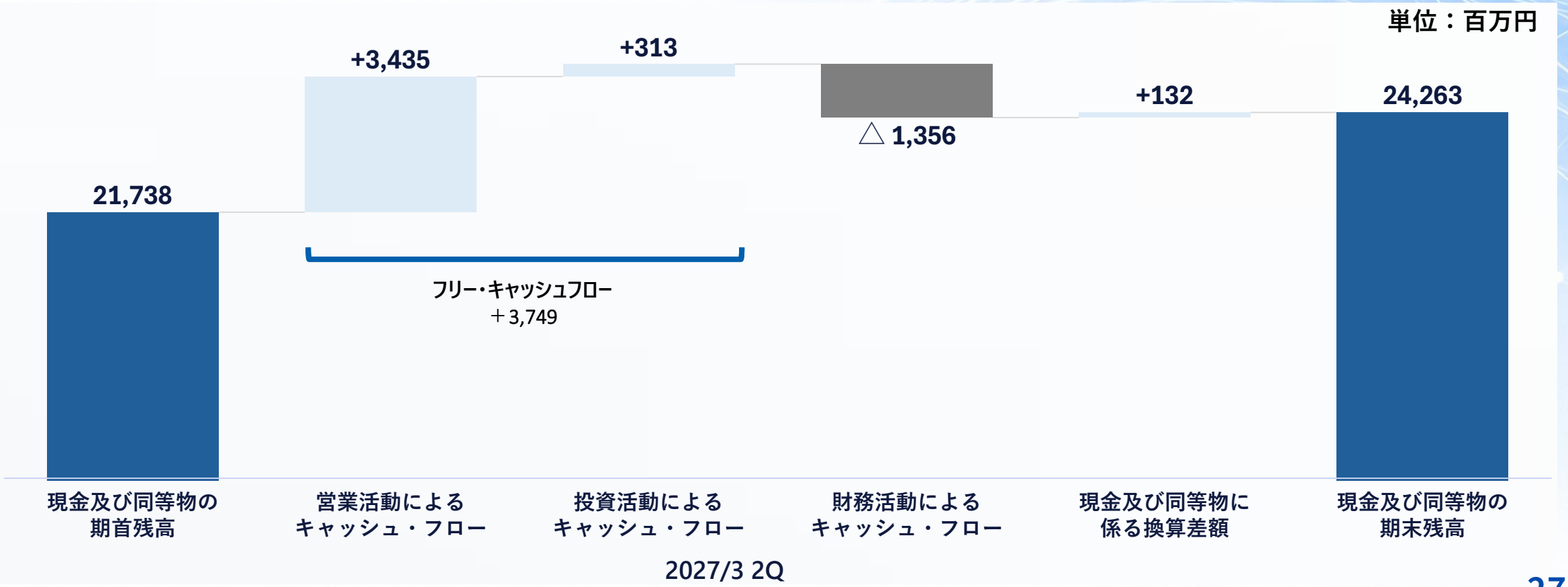
単位：百万円		2025/9末	2026/3末	2026/9末	前期末比増減
	現預金・有価証券	21,665	23,034	24,763	+1,729
	売上債権	4,934	6,224	7,372	+1,148
	棚卸資産	14,613	12,969	12,986	+17
	その他	895	1,090	1,477	+386
流動資産合計		42,108	43,318	46,600	+3,281
	有形固定資産	2,466	2,627	2,806	+179
	無形固定資産	189	410	744	+334
	投資その他の資産	4,858	5,784	5,577	△206
固定資産合計		7,514	8,822	9,129	+306
	繰延資産その他	91	81	71	△10
繰延資産合計		91	81	71	△10
資産合計		49,715	52,222	55,800	+3,578

単位：百万円		2025/9末	2026/3末	2026/9末	前期末比増減
	仕入債務	1,365	1,434	3,341	+1,907
	短期借入金	1,500	1,200	900	△300
	その他	4,539	4,911	4,940	+28
流動負債合計		7,404	7,545	9,181	+1,635
	社債・長期借入	8,370	7,920	7,470	△450
	その他	312	911	1,024	+112
固定負債合計		8,682	8,831	8,494	△337
負債合計		16,087	16,377	17,676	+1,298
	資本金	2,220	2,220	2,220	0
	資本・利益剰余金	32,489	33,350	34,928	+1,578
	その他	△1,082	274	975	+701
純資産合計		33,627	35,845	38,124	+2,279
負債純資産合計		49,715	52,222	55,800	+3,578

参考資料-連結キャッシュ・フロー

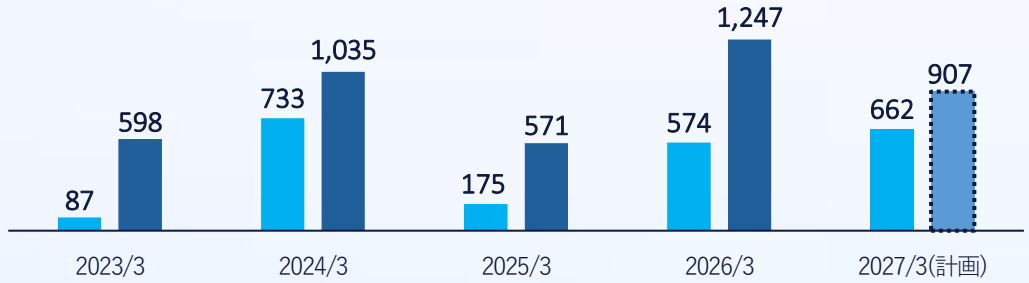
■主な増減要因

- 営業活動CF　+3,435百万円：税引前利益（+2,918百万円）及び仕入債務の増加（+1,784百万円）等により増加、売上債権の増加（△936百万円）等により減少
- 投資活動CF　+　313百万円：投資有価証券の売却（+2,832百万円）の一方、同取得（△1,499百万円）、事業譲受（△561百万円）及び設備の取得（△421百万円）により減少
- 財務活動CF　△1,356百万円：長期借入金の返済（△750百万円）・配当金の支払（△540百万円）等により減少

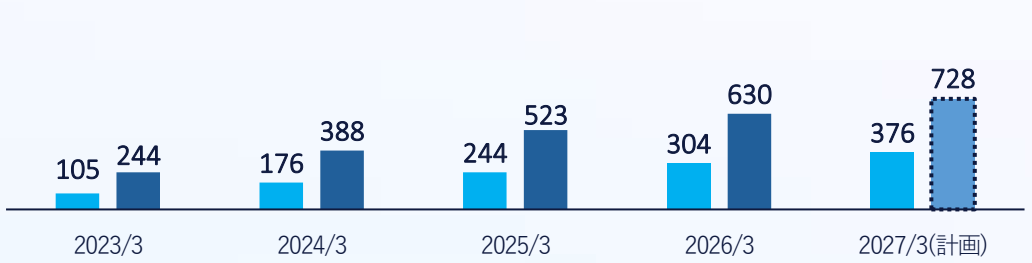


参考資料-設備投資額・減価償却費・研究開発費

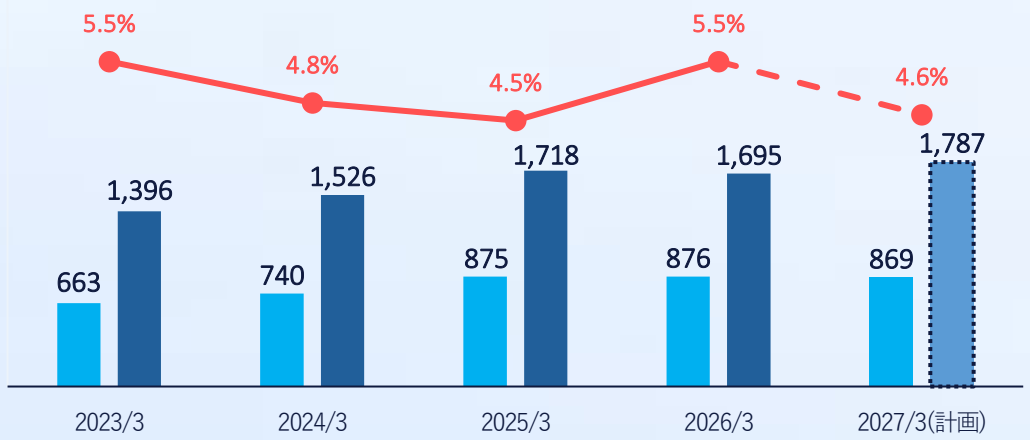
設備投資額



減価償却費（のれん除く）



研究開発費・対売上高比率



2027年3月期 計画のポイント

設備投資額	907	百万円	前期比 340百万円減（約27%減）
減価償却費	728	百万円	前期比 98百万円増（約16%増）
研究開発費	1,787	百万円	前期比 92百万円増（約5%増）

研究開発費の対売上高比率 4.6%（通期計画）

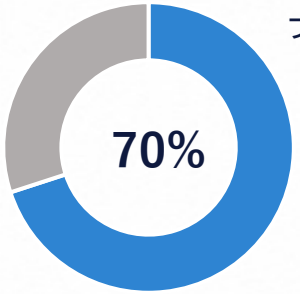
参考資料-為替影響

■為替感応度：円安は業績プラス要因

1円変動による影響額（百万円）		2023/3	2024/3	2025/3	2026/3	2027/3 2Q
期中平均レート	米ドル	132.08円	141.20円	152.28円	147.50円	158.61円
	ユーロ	138.58円	153.20円	164.45円	162.30円	184.89円
売上高	米ドル	**91**	**99**	**149**	**69**	**86**
	ユーロ	**48**	**59**	**65**	**23**	**30**
営業利益	米ドル	**11**	**14**	**37**	**19**	**9**
	ユーロ	**3**	**3**	**6**	**1**	**2**
期末日レート	米ドル	133.54円	151.42円	149.53円	148.89円	157.35円
	ユーロ	145.76円	163.38円	162.09円	174.50円	178.43円
営業外損益	米ドル	**40**	**33**	**37**	**48**	**57**
	ユーロ	**4**	**5**	**4**	**6**	**5**

参考資料-市場シェア ※各製品のシェアは、当社推定値

グローバルゲーミング



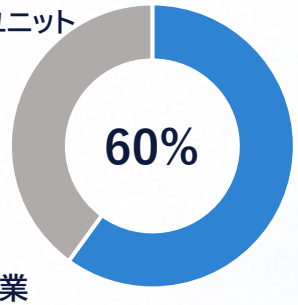
プリンターユニット





紙幣識別機ユニット



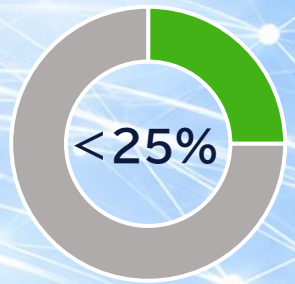


■競合企業
・Transact（USA）
・Nanoptix（CAN）

■競合企業
・Crane Payment Innovations
（MEI、Cash Code、
Money Control（USA））
・Innovative Technology（UK）

海外コマーシャル





紙幣還流ユニット



■競合企業
・Innovative Technology（UK）
・Crane Payment Innovations
（MEI、Cash Code、Money Control（USA））

国内コマーシャル







紙幣還流ユニット



硬貨還流ユニット





■競合企業
・グローリー㈱
・㈱高見沢サイバネティックス

遊技場向機器

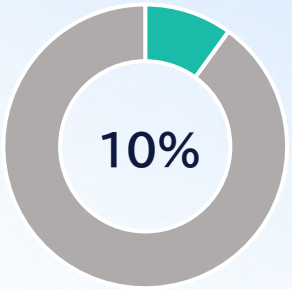
スマート遊技機専用ユニット





景品管理POS





■競合企業
・日本ゲームカード㈱
・ダイコク電機㈱
・グローリーナスカ㈱

参考資料- Topics「ゲーミング事業における取り組み」

グローバルゲーミング

■世界のゲーミング市場における高いブランド力

JCMグループは、米国、欧州をはじめとした世界のゲーミング市場において、ゲーミング関連機器等の販売と
各種サービスを提供しており、現在、北米で約190を超えるゲーミングライセンスを取得し、
世界のゲーミング市場における実績とノウハウを保有する数少ない日本企業であります。

■カジノホテル向けスロットマシンのメーカーをはじめ、周辺設備機器、システムソリューションやサービスなど、
幅広いジャンルの関連企業が集まるゲーミングショーに毎年出展し、新製品や当社の最新技術を紹介しております。



米国最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo
ラスベガス



カジノホテル
現金回収業務自動化システム
「ICB ASAP®」



欧州最大のゲーミングショー
International Casino Exhibition
バルセロナ



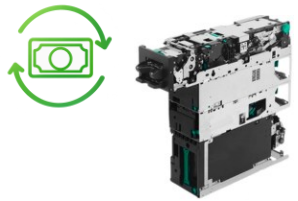
アジア最大のゲーミングショー
Global Gaming Expo ASIA
マカオ

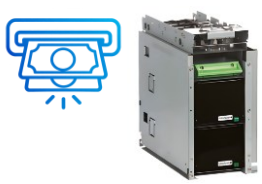
海外コマーシャル

■コマーシャル市場の開拓

JCMグループは、北米及び中南米地域のコマーシャル市場の開拓、当社製品の販売拡大を目的として、コマーシャル事業に特化した販売子会社を設立し、コマーシャル事業をゲーミング事業に次ぐ主力事業とすべく、積極的な販売提案活動に注力しております。

■富士通フロンテック株式会社の中・小型リサイクラー/ディスペンサー製造・販売事業を2026年7月1日付で譲り受け、製品ラインナップと顧客基盤の拡充を進めております。


GSR50


F53


F56


F510

■海外コマーシャル市場におけるシェア拡大に向けて、世界各地の金融・流通向け市場の展示会に出展し、新製品を含め多数の当社製品を紹介するとともに、協力企業との共同出展により更なる販路拡大に努めております。



欧州最大の流通業界向け展示会
Euro CIS
ドイツ



北米最大の金融・流通業界向け展示会
National Retail Federation
ニューヨーク



北米最大の小売業界向け展示会
APTA TRANSform Conference & EXPO
シカゴ



南米の金融・流通業界向け展示会
FEBRABAN TECH
ブラジル

■環境

気候関連のリスク及び機会に関する当社グループの指標と目標は、Scope１、Scope２について、2030年度までに温室効果ガス排出量51％削減（2018年度比）を目指します。

温室効果ガス排出量実績及び目標　（単位：ｔ-ＣＯ₂e）

2030年度 目標	2018年度 実績比	削減に向けた対応	2025年度 実績 （参考）
642	△51.0％	①省エネルギー設備の導入継続 ②社用車の完全エコカー化 （ハイブリッド車、電気自動車等） ③国内外各拠点の 再生可能エネルギー電力への転換 ④国内外各拠点における段階的な 環境価値証書の活用	1,017

■人的資本

当社グループの人的資本に対する基本方針は、従業員は「お互いを尊重し合い、個性を発揮しながら仕事を通じて人として成長し続けること」、会社は「人が成長し続ける機会を、仕事を通じて提供していくこと」で、従業員一人ひとりが家庭と職場に良い影響を与え、それらが集結することで継続的に価値を創造し続ける企業であり続けることが出来ると考えております。
今後、より一層事業のグローバル化を進めていく中、人事戦略の世界基準となっている「ダイバーシティの拡充」、「中核人材の育成」、「多様な働き方の実現」を当社の人材戦略の中心とし、その取り組みを推進してまいります。

当社グループではサステナビリティ推進にあたり、前述のとおり人的資本を重要視しており、上記各方針の実現に向けて、次の指標を用いており、当該指標に基づく目標及び実績は以下のとおりです。

指標	対象範囲	目標	実績 （2026年3月期）
採用に占める 女性比率	単体	30％以上	26.7％
正社員に占める 女性従業員比率	単体	2032年までに20％	17.7％

日本金銭機械株式会社 (日本語)　https://www.jcm-hq.co.jp

JCM Global（English）　https://jcmglobal.com

過去の決算説明資料は、ホームページ(日本語)でもご覧いただけます。
「投資家情報」➡「IRライブラリー」➡「決算説明会資料」

お問合せ先　：　経営企画本部　広報・IR担当　06-6643-8400(代)

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。
しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。
なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。



日本金銭機械株式会社